



Q.カワバタモロコは何のなかまですか？



A カワバタモロコは日本の固有種で、コイ科ダニオ垂科カワバタモロコ属の淡水魚だよ。一見すると九州北部に分布するヒナモロコととてもよく似ているけれど、こちらは同じ垂科の別属ヒナモロコ属の魚なんだ。



Q.カワバタモロコはどこにすんでいますか？



A 静岡県より西の本州と四国、九州北部にとびとびに分布しているよ。本州でも日本海側にはいないし、広島県より西にもいない。四国では徳島県と香川県のごく限られた地域にしかないんだ。(図参照)  
本来は平野部の流れのゆるい小川や水路、池や沼などにすんでいたはずなんだけど、現在では丘陵地(きゅうりょうち)のため池だけに見られることも少なくない。これは平野部では絶滅してしまい、人が持ち込んだため池でかろうじて生き残っていると考えられるんだ。



Q.どんな特徴があるんですか？



A カワバタモロコはメダカよりは大きいけれど、大人のメスでふつう全長5㌢、オスで4㌢ほどにしかならないんだ。体の横にぼんやりした縦じま(頭から尾にかけて走っている模様)が1本あるよ。



# みんなの知りたい！ なんでも Q&A



佐藤学芸員



今週のテーマは

## カワバタモロコ

文：徳島県立博物館・佐藤陽一学芸員  
絵・デザイン：徳島新聞写真美術部・大塚吉雄

Q.どんな生活をしていますか？



A 雑食性で藻類(そうるい)や小動物を食べるよ。産卵期は初夏で、その頃になると、オスは金色になるんだ。卵でお腹(なか)のふくれたメスを数尾のオスが追いかけて、水草などに卵をばらばらに産み付ける。卵はとても小さくて直径が1㌢ほどしかないよ。卵は一昼夜でふ化するんだ。寿命は野外では1年半くらいと言われている。でも屋内で飼育すると5年以上生きるよ。



Q.絶滅が心配されているって本当ですか？



A 近年は環境の悪化でどこでも減ってきていて、国の絶滅のおそれのある野生生物のリスト(レッドリスト)では絶滅危惧(きぐ)種に指定されているほか、分布するすべての府県のレッドリストにも掲載されているんだ。  
カワバタモロコが減ってきた原因としては、水路や田の改修、水質の悪化に加え、ブラックバスやブルーギルなどの外来魚の放流の影響が大きいんだ。



コラム

### 徳島にもいるカワバタモロコ

徳島県でカワバタモロコの生息が最初に確認されたのが1946年のことでした(石井町藍畑の水路)。しかしその後、ほとんど調査もされず、情報もないままに絶滅したと思われていました。ところが、2004年になって徳島の淡水魚好きの青年が鳴門市大津町の水路でカワバタモロコを再発見したのです。実に58年ぶりのことでした。しかし、再発見もつかの間、急激に生息環境が悪化していることがわかりました。絶滅のおそれが高まっていることから、徳島県などでは現在、保全に向けて取り組んでいます。



カワバタモロコが生息する、鳴門市大津町のレンコン畑に囲まれた水路